

「登米市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（案）」に対する意見

No	ページ	意見等の内容	項目名等	回答（意見に対する考え方）
1	1	計画策定にあたっての内容 記載の内容ですが、第8期の文章と似ており、前期からの振り返りがありません。第8期で何が出来て、〇〇が足りなかったから、今期は〇〇に重点的に取り組む、など継続した計画の取り組みを感じる表現を希望します。	第1章 計画策定にあたって 1 計画策定の趣旨	第4章施策の展開で個々の取り組みについて検証を行っております。
2	5	介護予防について P5の人口構成率の推移に関して、「65歳以上の人口が増加しており、今後更に高齢化が進展していくと予測される」と記載があります。 高齢者が増えると、明らかに要介護者の増加が予測できます。 現在の延長では、将来が不安になります。 その為、介護予防についての具体的な対策を教えてください。	第2章 高齢者を取り巻く状況 1 統計からみる高齢者の状況 ①人口の状況 ②人口の推移	P58以降に介護予防の取組について記載しております。特にミニデイサービス・シニアサロンの開催など地域における住民主体の介護予防活動を推進してまいります。
3	7	世帯の状況の表記 表の区分の数字は「各年3月末」と表の下に書いてあります。 表の「平成30年」の部分が平成30年3月末の数値であるなら「平成29年度」と思います。しかし説明文では「平成30年度」と記載されているので、表と説明が一年ずれていないでしょうか？	第2章 高齢者を取り巻く状況 1 統計からみる高齢者の状況 ①人口の状況 ②人口の推移	説明文の「第7期開始年度である平成30年度から」を「平成30年から」に修正します。

No	ページ	意見等の内容	項目名等	回答（意見に対する考え方）
4	17	<p>高齢者の移動手段について</p> <p>P17の【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】によると、外出する際の移動手段は、自動車（自分で運転）が多いことがわかりました。</p> <p>しかし、高齢になり運転を諦める方、家族等から諦めるように説得させる方が周囲に多い状況です。その場合、「タクシーは料金が高い」「バスを利用するにはバス停が遠い・本数が少ない」という現実があります。移動が制限されることにより、社会参加の機会が少なくなり、介護が必要な状態になることが懸念されます。介護保険サービスを利用する前の高齢者の移動手段についても対策が必要だと考えます。具体的な対策がありましたらお願いします。</p> <p>また、登米市のHP以外の情報で、市内のフォーマルサービス、インフォーマルサポートについて記載してある情報や冊子等があれば教えてください。無い場合、活用したいので、作成を検討して頂きたいです。よろしくお願い致します。</p>	<p>第2章 高齢者を取り巻く状況</p> <p>5 高齢者の実態と状況</p> <p>(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</p>	<p>介護保険サービスを利用する前の高齢者の移動手段につきましては、市民バスや住民バスのほか、一部地域では、デマンド型乗合タクシーを運行しているところではありますが、ご意見として頂戴し、担当部署とも連携しながら今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>また、フォーマルサービス、インフォーマルサポートについては、市として取りまとめた冊子等は作成しておりません。</p> <p>施設によってサービス等が異なることや、変更となる場合もあることから、情報については、それぞれの事業で提供していただくこととしています。</p>
5	51	<p>成年後見人制度の講話回数、参加見込み数</p> <p>講話の開催回数や参加見込み数の令和5年の目標について第8期では14回300人の目標としていたのに対し、今期の計画（実績？）目標では12回150人と目標を低く訂正しているのはなぜでしょう。</p> <p>制度の普及を継続する、と文章に記載しながら、今後は数値を上げつつも、目標が低いように思う。何が問題だったのか、過去よりも低くする数値の根拠を示してほしい。</p>	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1 住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり</p> <p>(5) 高齢者の人権尊重と権利擁護の一層の推進</p> <p>②成年後見制度利用支援事業</p>	<p>令和5年度は実績見込みとして記載しております。第8期では新型コロナウイルス感染拡大により集合開催が制限される中での開催でありました。今後は、以前の水準まで回復するよう努めます。</p>
6	56	<p>支援者名簿の整備</p> <p>年ごとの登録者数のみの表となっています。可能な限り多くの登録を促すのであれば、対象者総数を記載して、どれくらいの達成率かわかるように表現し、目標になるようにしてほしい。</p> <p>また、前期からの推移をみると、登録者数がかかなり減る傾向にあるようですが、どのようなことに起因するのでしょうか？</p>	<p>第4章 施策の展開</p> <p>1 住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり</p> <p>(8) 災害や感染症対策に係る体制整備</p> <p>①避難行動要支援者名簿の整備</p>	<p>名簿登載者の中には、同居家族の支援を受けられる方もいるため、目標としての設定はしていません。なお、本文の記載内容について修正します。</p> <p>また、表中の人数については掲載の内容精査に伴い減ったものです。</p>

No	ページ	意見等の内容	項目名等	回答（意見に対する考え方）
7	56	福祉避難所の整備 協定施設数の記載がありますが、災害ごとに適さない施設もあるかと思います。市が定める一般の指定避難所は、水害や地震など災害毎に一覧を作成して公表しています。福祉避難所の協定にあたり、そのような区分けや整理はされているのでしょうか？	第4章 施策の展開 1 住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり (8) 災害や感染症対策に係る体制整備 ②福祉避難所の整備	協定では、災害の種類による区分けはしていません。災害の状況により開設等の調整を行い避難者の受け入れを行います。
8	57	災害に対する備え 「災害が発生した場合でも～義務付けられました」とあります。第8期には記載がありませんが、義務の根拠は法律でしょうか。市の条例などでしょうか。 市として「促す」という言葉ではなく、義務に応じた市の積極的なチェック行動を表現してほしいと思います。	第4章 施策の展開 1 住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり (8) 災害や感染症対策に係る体制整備 ③災害に対する備え	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等（平成十一年厚生省令第三十七号）の一部改正により義務となったものです。 いただいたご意見を参考に、「促します。」を「指導します。」に修正します。
9	89	人材確保について P89に「40代以上が全体の73%を占めており、20代では9%と非常に低くなっている。今後、2040年を見据えると、20代から30代の職員を増やす必要がある」と記載があります。 2040年までに、どの位不足し、どの位必要なのかを教えてください。 また、若い世代が介護の道を志そうと思えるような環境になるよう、具体的な対策を教えてください。	第4章 施策の展開 3 適切なサービスや支援が受けられる基盤整備 (5) 介護人材の確保	令和4年度に実施した「介護人材実態調査」において、回答いただいた事業所147事業所の職員総数は1,864人で、その内40歳以上は全体の73%、1,362人、50歳以上は全体の46.3%、865人となっています。 不足人数を単純推計する事はできませんが、2040年には、現在の50歳以上の方が定年退職等により離職することが見込まれることから、職員が不足すると推測しています。 現在、介護を目指そうとする方の負担軽減を図るため、介護職員初任者研修等に係る受講料の一部を助成するほか、関係機関と連携し、介護のしごと合同面接会なども行っているところであり、今後も介護職員の人材確保に向け、関係機関と連携し人材確保対策に取り組んでいきます。

No	ページ	意見等の内容	項目名等	回答（意見に対する考え方）
10	90, 101	<p>初任者研修等の計画と実績</p> <p>過去の実績が記載されていますが、第8期の令和2年の計画に対する実績の記載がありません。P101の「進行管理」にもあるように、実績チェックのために記載してほしい。</p> <p>また、第8期の目標から計画値が小さくなっています。利用者が増え続けて介護人材の確保が大切、と記載があるのになぜ目標がだんだん小さくなるのでしょうか。</p>	<p>第4章 施策の展開</p> <p>3 適切なサービスや支援が受けられる基盤整備</p> <p>(5) 介護人材の確保</p> <p>②初任者研修等事受講の促進</p> <p>第6章 計画の推進に向けて</p>	<p>本計画書において、令和2年の実績値は表記していません。</p> <p>なお、介護職員初任者研修等の目標がだんだん小さくなっているとのこと指摘をいただきましたが、表記は目標値ではなく、当該年度の実績値又は実績見込値を記載しております。</p>
11	90	<p>介護人材の裾野の拡大</p> <p>介護に関する普及・啓発のための交流会は、具体的にどのように実施されたのでしょうか。</p>	<p>第4章 施策の展開</p> <p>3 適切なサービスや支援が受けられる基盤整備</p> <p>(5) 介護人材の確保</p> <p>③介護人材の裾野の拡大</p>	<p>介護事業所へ市主催の就職ガイダンス（高校生や大学学生等対象）への参加促し、マッチングの場を提供を行っています。</p> <p>また、市ホームページで介護事業所の採用情報を掲載しており、今後も、広報紙や市ホームページ等で啓発を行っていきます。</p>